



ふれあい

記事と情報は下記へ
周陽公民館
☎28-6515

4月の資源回収は17日（第3日曜日）です。



あなたも周陽公民館で 学んでみませんか。

周陽公民館の十七年度「趣味文化教室・同好会」が始まります。何かを始めてみたい方、続けて趣味を深めたい方、共に学び、語りあいたい方・・・
今まで知らなかった新しい自分にきっと出会えるでしょう。
詳しくは、周陽公民館趣味文化教室等一覧表をご覧ください。

公民館は、地域の皆さんの趣味文化講座・サークル活動・地域活動など、様々な生涯学習の機会と場所を提供し、皆さんの学びを応援するところです。
公民館は、子どもから高齢の方まで、多様な各世代の人たちが集い、自ら学び、集い、ふれあうところ、そして地域を支える場所でもあります。
もつすぐ団塊の世代といわれる時代が近づきます。これまでに、仕事一途に生きてきた方が、自分の趣味や居場所を見つけているのはなかなか難しいものです。生涯現役をめざして生きがいづくりや健康づくりのために、公民館の活動や地域活動に参加してみませんか。一度、公民館を訪ねてみてください。
また、「何かの役にになりたい」、「こんなことなら自分にも手伝える」と思われる方、公民館事業や地域づくりのサポーターとなってください。

音楽の時間

体を動かしたい

教養を深めたい

ボランティア活動
を試してみたい

健康づくり

仲間づくり

(前ページより)

(効果)として、①美化意識が高まる、②自分達の町がきれいになる。③自分達の住む町に愛着を持てる、と思います。

次の、地域交流の面では「公民館と協力し行事などの企画運営」を考えてみました。各地区の公民館での祭りの開催、子どもから老人まで参加できるスポーツ大会の企画運営、伝統行事への積極的参加し、これらを学校と地域住民が協力して企画運営をしていきたいと思ひます。

次に「中学生のアイデアバンク」を考えました。

これは中学生から出た町づくりに対する意見を要望に応じて提供する仕組みで、中学生の若い発想が町づくりに役だてもらえるのではないかと考えました。

(効果)として、①地域の様々な世代の人とふれあうことができる。②共同で企画運営することで、町づくりの意識が高まる。③これらの機会を得た経験や知識によって自分自身を深め、次の世代に伝えることができる、と思ひます。

◎まとめ

周陽中周辺の環境を考え、私達中学生ができることを考えてみましたが、私達が積極的に関わることで、町が変わっていくのではないかといい気持ちになり、これらの提案を実践したいと思ひました。これから学校と地域の輪を広げていくためには、様々なアイデアも必要ですが、それを実行していく私達中学生の気持ちが一番大切であると感じました。

主な行事予定

4月

4日	(幼)	お別れ遠足
7日	(社)	食事交歓会(花見)
8日	(幼・小・中)	始業式
8日	(中)	入学式
11日	(小)	入学式
12日	(幼)	入園式
15日	(小)	参会日・学級PTA
17日	(コ)	資源回収
20日～	(中)	家庭訪問
28日	(小)	1年を迎える会

俳句教室

耳袋

赤松蕙子選

春寒やひとかたまりの通夜の客	稲子
特攻の発ちし跡地に春の雨	久子
梅花散る曲水の庭水干して	礼以子
陽炎やまるで記憶と違ふ町	直美
水音の方へ傾く露のとう	アサ子
工房の深き軒下山椿	喜美子
大山を望む山小屋耳ぶくる	恵美子
自転車の校門までの耳袋	允

あとかぎ

別れるとき、旅立ちのとき、新たなスタートをする人たちを満開の桜も祝っています。たとえどんなことでも、目の前にあるものにチャレンジして、祝ってもらえる仲間になりませんか。この春も。

三月二六日



文化祭特集

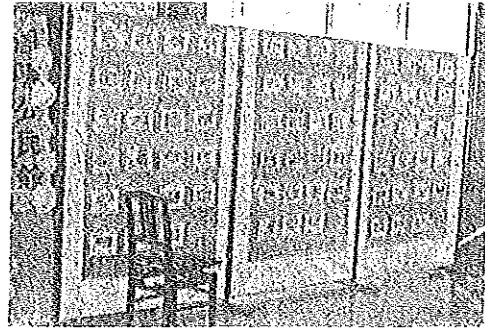
去る三月十一日・一二日の二日間、周陽公民館文化祭が開催されました。

当日は、真冬に逆戻りしたような小雪の舞う風の強い寒い日でしたが、館内で講座生の皆さんの作品展示・演芸の発表や、周陽幼稚園、周陽小、周陽中の発表などで、熱気あふれていました。

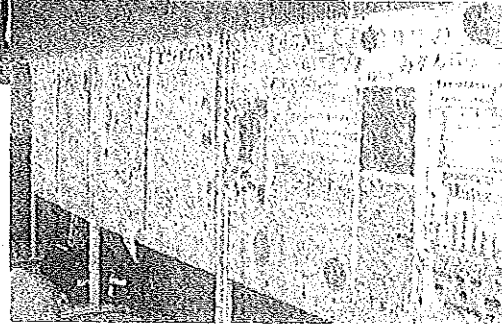
外では、移動動物園や遊び広場に子ども達が集まり、また、講座生や地域団体の各種バザーも人気でした。

開催にあたり、準備、設営、開催、撤収にご協力いただいた皆さんに心から感謝をいたします。

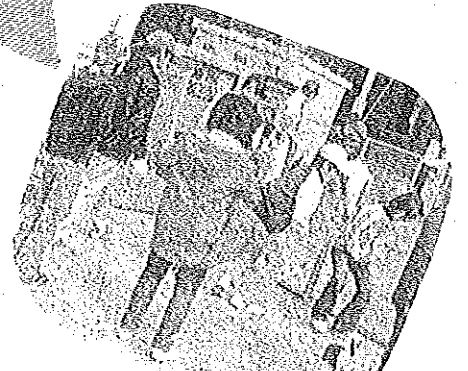
人・地域・学校 ふれあいの輪



講座生の手による大好評の網焼き



華麗な舞に観客も魅了され・・・



かわいい動物に思わず類ずり

写真立てを飾ったよ

by 周陽幼稚園

周陽幼稚園のぱらくみ りすぐみ うさぎぐみの69人の園児たちのかわいいお顔がならびました。おはじきやタイルピースでぶちを飾ってとてもきれいにできました。

美しい歌声で

by 周陽小

周陽小3年の39名の生徒さんが合唱と合奏で特別参加してくださいました。山本珠美先生の指導で、手話を交えながら「世界の子どもたちが」を歌い、パフ（ソプラノコーダー）の見事な演奏に会場のみなさんも魅了されました。また4年1、2組のみなさんが山口県の市町村の状況や特色を調べた展示発表もたいへんよく工夫されていました。

私たちの提案です

by 周陽中

周陽中の生徒会の皆さんが、「緑を囲む地域と中学校の輪・・・周陽中周辺の環境を利用した地域交流を考える。」をテーマに、次のように、町づくりに対する熱い思いを発表しました。

◎テーマ設定の理由

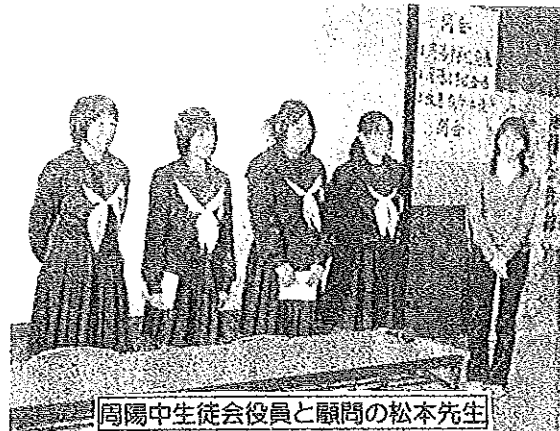
周陽地区は、緑や花などが沢山あり、自然がとても豊かで、緑地公園などの交流の場もあります。そんな環境の中にある周陽中学校は、全員の団結力が強く大きな力を持っていますが、この力は学校の中でしか発揮されておらず、地域との交流に余り使われていません。また、環境や施設を生かした交流機会も少ないので、学校と地域との間に壁があるように感じられます。そこで、ここ周陽地区に住む私たち中学生や幼い子からお年よりまでの全ての人が交流できる機会を増やし、地域の輪を広げていくため私たちができることを考えてみます。

◎具体的な活動案

「環境」と「地域交流」という2つの視点から提案します。まず、環境の面では「花いっぱい運動」です。グリーンベルトに花を植え、地域の方々と協力しながら水やりの世話をしたり、校内でも「一人一鉢運動」を展開し多くの花を咲かせたいと思います。

次に「クリーン作戦」を考えました。各自治会の方々と連絡をとりあって日程を調整し、学校と地域が協力して、周陽地区の公園や道路などを清掃します。また、ゴミの分別ができるゴミ箱を公園に設置し、ゴミの散乱を防ぎます。

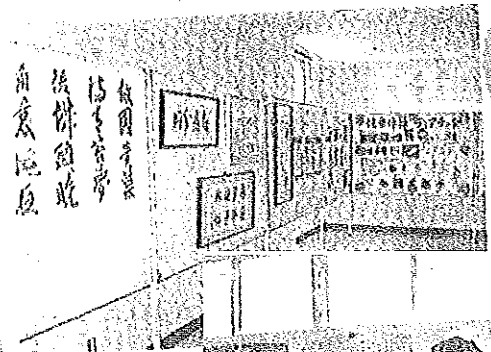
(次ページへ)



周陽中学生役員と顧問の松本先生



東消防署員による救急・救命体験



後援の
周陽地区
自治会



1年間の成果の力作ぞろい